2026年11月17日

各 位

会 社 名 株式会社ホットリンク
代表者名 代表取締役 檜野安弘
（コード番号：3680 東証スタンダード）
問合せ先 執行役員 CFO 福島淳二
（ TEL. 03-6261-6930）

データ流通基盤「NonagonLink」を活用した実証実験に関するお知らせ

～大学の研究者・事業者と連携し、AIエージェントによるデータ取引の実用化に向けた課題を検証～

株式会社ホットリンク（以下、当社）は、当社グループの合同会社Nonagon Capital（以下、Nonagon Capital）が、当社と共同開発するデータ流通基盤「NonagonLink」を活用し、国内大学の研究者及び国内大手事業者の計4者と連携した実証実験を2026年11月に開始することをお知らせいたします。

本実証実験では、AIエージェントが必要なデータを自律的に検索し、日本円建てステーブルコインによる決済を通じてデータを取得・分析する一連の工程について、技術・規制・商習慣の観点から実現可能性を検証するとともに、課題を整理します。実証期間は2026年11月から2027年2月までを予定しており、2027年春以降に結果報告書を公表する予定です。

当社グループは、2026年7月にNonagonLinkのベータ版を国内限定で公開しており、今回の実証実験を通じて、大学の研究者や事業者が参加する環境での検証を進めます。また、実証実験と並行して利用企業のニーズ把握や料金体系の検討など、事業化に向けた取り組みを進めることで、AIエージェントを活用した新たなデータ流通の仕組みの構築を目指してまいります。

１．実証実験の背景・目的

近年、AI技術の進展に伴い、AIエージェントが自律的に情報を収集・分析するなど、その活用領域が拡大しています。一方、企業や研究機関等が保有するデータの中には、長期契約や高額な費用が必要となるものも多く、利用者が必要なデータを必要な分だけ取得することが難しいという課題があります。また、データ提供者にとっても、小口での販売は管理コスト等の負担が大きく、収益化の機会が限られる要因となっています。

こうした課題に対し、AIエージェントによるデータの検索・取得と、ステーブルコインを活用した少額決済を組み合わせることで、従来は取引が難しかったデータについても、利用者のニーズに応じた取引が可能になることが期待されています。

本実証実験では、実際のデータと日本円建てステーブルコインを用いて、一連の取引の実現可能性を検証するとともに、技術・規制・商習慣上の課題を整理し、将来的な事業化に向けた条件を明らかにすることを目的としています。

２．NonagonLinkの概要と事業上の可能性

NonagonLinkは、企業が保有するデータやコンテンツと、それらを必要とするAIエージェントをつなぐデータ流通基盤です。当社が有するAI・データ分析の知見と、Nonagon Capitalが有するWeb3領域の知見を活用して共同開発を進めており、2026年7月にベータ版を国内限定で公開しました。

AIエージェントが必要なデータを検索し、決済を通じて取得できる環境の構築を目指しています。これにより、従来は長期契約や高額な費用が必要だったデータについても、利用者が必要な分だけ取得できる仕組みの実現が期待されます。

データ提供者にとっては、保有するデータやコンテンツをAIエージェントが利用できる形で提供することで、新たな収益機会の創出が期待されます。一方、データ利用者にとっては、必要なデータを必要なタイミングで取得することにより、情報収集・分析業務の効率化やデータ活用の拡大につながる可能性があります。



※ 図はイメージです

３．実証実験の概要

本実証実験では、国内大学の研究者及び国内大手事業者の計4者が参加し、NonagonLinkを活用したAIエージェントによるデータ取引について、実際のデータと日本円建てステーブルコインを用いた検証を実施します。

具体的には、データ提供者がNonagonLinkにデータを登録し、AIエージェントが必要なデータを検索した後、ステーブルコインによる決済を行い、取得したデータを分析するまでの一連の工程を検証します。対象となるデータは、ブログ、掲示板、ニュース、レビュー、動画などのSNS・Web上のデータを想定しています。

本実証実験では、データの検索精度、決済の確実性や所要時間、取得データの活用可能性などを確認するとともに、AIエージェントの身元確認、データの権利処理、契約・請求・会計処理等の実務上の課題についても整理します。

【実施概要】

実施期間：2026年11月～2027年2月
参加者：国内大学の研究者及び国内大手事業者の計4者
利用基盤：NonagonLink
決済手段：日本円建てステーブルコイン
対象データ：ブログ、掲示板、ニュース、レビュー、動画などのSNS・Web上のデータ
結果公表：2027年春以降に結果報告書を公表予定

４．今後の展望

当社グループは、本実証実験を通じて得られた知見をNonagonLinkの機能改善につなげるとともに、実証実験と並行して、利用企業のニーズ把握や料金体系、データ提供者への代金の支払い、契約・請求など、事業化に向けた仕組みの検討を進めてまいります。

また、技術面での実現可能性に加え、企業が実際の業務で継続的に利用するために必要な条件を具体化し、実証結果を踏まえて今後のサービス展開の方向性を整理してまいります。

将来的には、利用ニーズを踏まえながら提供データの拡充や利用者の拡大を図り、さまざまな企業や研究機関がAIエージェントを通じて継続的にデータを取引できるサービスへの発展を目指します。

これにより、これまで小口での取引が難しかったデータについても、必要に応じて取得・活用できる環境を整備し、データ提供者の新たな収益機会の創出と、データ利用者による効率的なデータ活用への貢献を目指してまいります。

５．業績への影響

本件による2026年12月期の当社連結業績への影響は軽微であると見込んでおります。
今後、業績に重要な影響を与える事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

６．リスクに関する留意事項

本実証実験は、AIエージェントによるデータ取引の実用化に向けた課題を検証するものであり、事業化や将来の収益を保証するものではありません。
今後の事業展開については、実証結果や技術的課題、関連法規制、事業環境等の状況により、計画が変更となる可能性があります。

以上